

思い出すこと

40年余り前、私も大学祭に参加した。その頃、私は物理学の学生だった。ある年、物理学科として何かしようということになった。いろいろの企画を出したと思うが、二つのことしか覚えていない。衝突の実験とアインシュタインの相対性理論の解説である。

私はおもに相対性理論の解説にかかわった。難しい数式などは使わず、絵や図を使って、面白く説明しようと思つた。

見に来てくれた人がどのくらいいたのかも覚えていない。来観者に一所懸命、説明したことは覚えている。

その中に今、私の妻となっている女性がいたという。その女性は妹や友人と連れ立って来たという。その妹が当時のことを覚えていて、話してくれた。

前任校では私の子どもたちが遊びに来た。セツルメントをやっていた学生たちがするゲームを私の子どもたちは楽しみにしていた。昔のおもちゃを集めて遊ばせるコーナーもあった。ケンダママやベーゴマ、メンコなども、私の子どもたちには初めてであった。

私はケンダママが得意であったので、腕前を子どもたちに見せびらかした。その子どもたちも、今はそれぞれに学園祭で活躍している。

佐柳文男（学園宗教主任、社会福祉学部教授）